

移住を考える？

奥多摩古民家探訪

2023.6.18 sun 13:00集合17:00解散

会費2000円 (学生・こどもは無料)

●電車の方の集合 奥多摩駅13:00集合
車の方は直接①に集合13:00

●その1 奥多摩町海澤1027-1

①プレファブ古民家改修 (丸谷晴道邸) の見学

②山村民家の現状と修築方法へのアイデア募集

●その2 奥多摩町小河内ダム湖畔

③昭和古民家の改修見学 (pianoと湖畔を楽しむ家)

申込：h.maruya@a-and-a.net ☎080-6536-9240

主催：ideacenter 浮輪寮同友会

年少人口と生産年齢人口の減少は著しく奥多摩町。65歳以上の高齢人口はここ10年間2500人前後で推移し、高齢化率は46.9% (平成27年3月1日現在)。昨年、センセーショナルに発表された消滅可能性自治体 (2040年に20~39歳の女性人口が半減する自治体) に奥多摩町も数えられた。

「いなか暮らし支援住宅」平成26年度から行っている「いなか暮らし支援住宅」は、空き家を利用した定住促進。寄附された空き家を町が整備し、15年以上住めば、住宅などは入居者に無償で譲与される。家賃は不要だが、固定資産税相当額等を毎年納める。ただし、15年以上定住した場合は、定祝い金として相当額が交付される。



暮らすを 変えよう

Let's change
where we live.

家づくりについて

丸谷建築研究所では、暮らしを移す際の家づくりについてご相談に乗ります。移住や土地探し、これからの暮らしについて。そしてリフォームや今後のメンテナンスまで承りたいと考えています。これからの、質の高い日本の「住まい」の原点をご提案します。



奥多摩に 居を移す

In Okutama move to a new address

2018年の春に家族と奥多摩へ居を移しました。山が好きで自然の中で生き生きとした暮らしがしてみたい、もっと積極的に自分たちの暮らしを考えたい。そこから物語がはじまりました。

都内で働きながら、休日になると家族や友人と奥多摩へ来ては少しずつ手を加え、子ども達も楽しんで道具を使いながら、見よう見まねで大工仕事をしていました。

その間には町の中を散策したり、川で遊んだり、山を歩いたり、地域のお祭りに参加したりと、通う時間が徐々に家族と奥多摩を近づけてくれました。約1年半かけてようやく引っ越しができるまでに。

東京で育った私にとってここ奥多摩は、東京の最北西端のもうひとつの可能性に満ちたフィールド（原点）となっています。自然豊かな山の暮らしは、都心の暮らしとは違い手ががかかります。それでも時間と手間をかけていくことが本来人が自然とともに生きていく営みだと思っています。

本当に必要なものとは何か、『暮らす』とは何かを見つめながら。

My family and I moved to Okutama in the spring of 2018. We love the mountains, want to live vibrantly in nature, and want

to be more proactive about our lives. That's how our story began. While working in Tokyo, I would come to Okutama with my family and friends on weekends and holidays to do a little bit of carpentry, while my children enjoyed using the tools and learning from my example. In the meantime, we took walks in the town, played in the river, walked in the mountains, and participated in local festivals, and the time we spent commuting gradually brought our family closer to Okutama. It took about a year and a half before we were finally able to move in. For me, having grown up in Tokyo, Okutama has become another field full of possibilities (origin) in the far northwest corner of Tokyo. Life in the mountains, rich in nature, is different from life in the city, and requires a lot of work. Even so, I believe that taking the time and effort is the way people should live with nature. What is truly necessary, and what is "living"?



丸谷建築研究所

MARUYA ARCHITECT & ASSOCIATES